

全 社 協

Action Report

熊本地震第 5 報

2016（平成 28）年 4 月 25 日

社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**
Japan National Council of Social Welfare
(全社協 ぜんしゃきょう)

政策企画部 広報室 z-koho@shakyo.or.jp
TEL03-3581-4657 FAX03-3580-5721
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2
新霞が関ビル

※熊本県熊本地方を震源とする地震についての情報をお送りします。

「平成 28 年熊本地震」の被害状況、支援の取り組み

熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生(4 月 16 日(土)1 時 25 分頃)し、震度 1 以上の地震は 25 日正午までに 800 回以上に上り、現在も地震活動が続いています。

全社協では、「平成 28 年熊本地震福祉対策本部」を 18 日に設置し、全社協構成組織及び関係機関と連携して、被害状況やニーズを把握するとともに、被災地への支援活動についての情報提供を行ってまいります。

■ 義援金の募集開始

▶ 全国社会福祉協議会社会福祉施設協議会連絡会

○4 月 19 日(火)に開催された全社協・社会福祉施設協議会連絡会(委員長:磯全国経営協会会長)会長会議において、「熊本地震」にて被災した福祉施設への義援金を各種別協議会等を通じて募ることを決定しました。

【義援金募集期間・送金先】

- ・募集期間 平成 28 年 4 月 21 日(木)～5 月 31 日(火)
- ・送金口座 ① 三井住友銀行 東京公務部(096) 普通預金 0167239
口座名義 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
社会福祉施設協議会連絡会(義援金口)
- ② ゆうちょ銀行 振替口座 00170-3-708194
口座名義 全国社会福祉協議会施設協連絡会義援金口

※大変恐縮ですが、振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
社会福祉施設協議会連絡会
委員長 磯 彰格
全国社会就労センター協議会
会長 阿由葉 寛
全国身体障害者施設協議会
会長 日野 博愛
全国保育協議会
会長 万田 康
全国保育士会
会長 上村 初美
全国児童養護施設協議会
会長 藤野 興一
全国乳児福祉協議会
会長 平田 ルリ子
全国母子生活支援施設協議会
会長代行 渡辺 英秋

全国福祉医療施設協議会
会長 桑名 斉
全国社会福祉法人経営者協議会
会長 磯 彰格
全国社会福祉法人経営青年会
会長 廣江 晃
障害関係団体連絡協議会
会長代行 橘 文也
全国厚生事業団体連絡協議会
会長 大西 豊美
高齢者保健福祉団体連絡協議会
会長 熊谷 和正
日本福祉施設士会
会長 高橋 紘

▶保育三団体(全国保育協議会・全国私立保育園連盟・日本保育協会)

- 全国保育協議会では 4 月 21 日に常任協議員会を開催し、被災地情報の把握に努めるとともに、被災地の保育所等および子どもと子育て家庭等を支援するための募金を、保育三団体(全国保育協議会、全国私立保育園連盟、

日本保育協会)で共同実施することとし、4月22日、三団体間での確認がなされました。

- つきましては、以下のとおり、募金口座を開設いたしましたので、貴都道府県・指定都市内の会員に周知いただきますとともに、募金への協力について特段のご配慮をいただきますようお願いいたします。
- 送金については、組織単位でまとめていただいても、会員、個人で送金いただいても結構です。三団体では都道府県・指定都市別の送金件数、送金金額等の集計を行う予定はございませんので、予めご了解ください。

【保育三団体被災地支援募金募集期間・送金先】

- ・募金期間:平成28年4月22日(金)～9月30日(金)
- ・送金口座:三菱東京UFJ銀行 浅草橋支店(069) 普通預金 0286561
口座名義:公益社団法人 全国私立保育園連盟
保育三団体被災地支援募金
会長 近藤 遼(コンドウ ツヨシ)

*窓口では「保育三団体被災地支援募金(ホイクサンダンタイヒサイチシエンボキン)」で振込手続きが可能です。

※領収書の発行については、平成28年度の保育三団体協議会幹事事務局である「全国私立保育園連盟」あてに、FAX・MAIL等でお問い合わせください。

※お振込手数料は、ご負担いただきますようお願い申し上げます。

【公益社団法人全国私立保育園連盟 事務局】

TEL.03-3865-3880 FAX.03-3865-3879

MAIL:ans@zenshihoren.or.jp

▶全国保育士会

- 全国保育士会では4月21日に常任協議委員会を開催し、これまで東日本大震災被災地の保育士を支援し、被災地の子どもの育ちを守ることをめざして実施してまいりました「東日本大震災被災地保育士会支援募金(通称:スキャンポ募金)」の名称を「全国保育士会被災地支援スキャンポ募金」に変更し、当該県・市保育士会の運営を支援するとともに、子どもの育ちを支える仲間を支援するため、改めて全国保育士会会員に募金を呼びかけることといたしました。

- 都道府県・指定都市の保育士会より会員保育士等に周知し、募金協力を働きかけてまいります。
- 送金は、組織単位でまとめていただいても、園単位、個人のいずれでも構いません。なお、都道府県・指定都市別の送金件数、送金金額等の集計を行う予定はございませんので、予めご了解ください。

【全国保育士会被災地支援スキャンポ募金・送金先】

・送金口座：三井住友銀行 東京公務部(096) 普通預金 168334
 口座名義：全国保育士会被災地支援スキャンポ募金
 (ゼンコクホイクシカイ ヒサイチシエンスキャンポボキン)

※銀行に正式に登録された口座名義が「社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国保育士会 被災地支援スキャンポ募金 会長 上村初美」であるため、ATMで振り込まれた場合、画面に「社会福祉法人 全国社会福祉協議会・・・」と表示されることがあります。



「スキャンポの花」は、全国保育士会のシンボルマークです。

■ 社会福祉法人・福祉施設関係

▶ 全国社会就労センター協議会 (21日(木))

○熊本地震で被災した就労系障害者支援施設・事業所への支援のため、21日(木)、下記の3項目について厚生労働省へ要望書を提出した。

- (1)被災した就労系支援施設・事業所が利用者支援を継続できるよう、必要な物資を迅速に届けていただく枠組みを設けてください。
- (2)被災した障害のある方が安心して過ごすことのできるよう、住まいの場を早急に確保してください。
- (3)被災した施設・事業所が早急に生産活動を再開し、利用者に工賃・賃金を支給できるような措置を講じてください。

▶全国保育士会（22日（金）19時）

○保育士の専門性を発揮した、避難所での臨時保育を開始した。

熊本県、熊本市の保育士会役員からの報告

【熊本県】

- ・開いている保育所では、子どもの登園数が半分程度まで戻ってきている。
- ・ほとんどの園は、電気と水道を使える状況になった。
- ・一方、小学校は給食が作れないため、完全復旧は5月の連休明けの見込み。
- ・避難所に避難している住民の中には保育士も多く、熊本県／熊本市の保育士会役員が連絡を取り合って、青空保育や避難所内での臨時的な保育を始めている。
- ・原則は、お昼ご飯の時間帯を挟んで午前1時間、午後1時間半の合計2時間半程度の実施。

【熊本市】

- ・市内保育所のほとんどの園が開園可能。
- ・電気・ガス・水道は、すべて使える。
- ・ただし、市からの通知で、23日（土）までは、多くの園に休園指示が出されている。

▶全国地域包括・在宅介護支援センター協議会

○4月22日（金）、全社協にて緊急に正副会長会議を開催し、これまでに把握した熊本県等の会員センター被災状況等を確認し、本会としての今後の対応として、以下の点を決定した。

①本会としての義援金の実施

被災した熊本県内の会員センターの活動支援を目的に、4月25日頃（口座開設後）～5月末を実施期間とし、本会独自の義援金の募集を実施することとした。4月25日頃（口座開設後）～5月末を実施期間とし、全額を熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会に送金する予定。

②平成28年度の本国会費の免除

東日本大震災の際と同様の対応とし、災害救助法が適用された市町村に所在するセンターを対象に（熊本県内全会員センター）、各センターの申請に基づき、平成28年度の本国会費を免除することとした。

その他、現地の状況把握について、日本介護支援専門員協会、日本社会福祉士会との連携について検討を行うことを確認した。

■ 社協・ボランティア関係

○被災地でのボランティア活動を希望されている方々に対して、お伝えしたいことをまとめました

被災地では、余震に注意を払いつつ、安全面の確認ができた地域から、徐々に災害ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動が円滑に行われるよう対応をしています。

被災地の災害ボランティアセンターには熊本県内をはじめ全国から多くのボランティアの方々に集まっています。

しかし、被災各地の災害ボランティアセンターでは、ボランティアに来ていただいても長時間お待たせしたり、場合によっては活動をご紹介できない状態が発生しています。

これは、それぞれの災害ボランティアセンターにおいて、一連のコーディネート業務が開設間もないため、まだ円滑には進んでいないこともありますが、それとともに、災害ボランティアセンターの役割や活動内容を周知しはじめたばかりであること、家屋に甚大な被害があるなかで、ボランティアが安全に活動できるだけの十分なニーズ量が確保できていないこと、などが考えられます。

今後、ニーズ把握や活動場所の安全確認が進むにつれ、より多くのボランティアの力が必要となる場面が増えてくると見込まれます。

実際に、活動しているボランティアの姿を目にした被災された方から、ボランティアを頼みたいという問い合わせが出始めてきています。

そのときこそ、多くのボランティアの力が必要となりますので、息の長い支援をお願いします。

詳細については本会ホームページよりご覧ください。

「被災地支援・災害ボランティア情報」 <http://www.saigaivc.com/>

また、「熊本地震特設サイト」も活用ください。

「熊本地震特設サイト」 <http://shienp.net/>

■ 支援活動レポート

▶ 全国社会福祉法人経営者協議会

○ 緊急支援物資の配送状況について

本会会員法人をはじめとする全国のみなさまからの支援物資につきましては、熊本県内全域の社会福祉法人・施設への供給体制を整備したところですが、4月21日に搬入された支援物資はすべて、同日中に7つの拠点となる経営協会員法人に配送されました。

また、22日午前中にも十数か所の社会福祉法人・施設から水や食料品等の支援物資が届き、順次、拠点となっている各法人へ配送しております。

みなさまからお送りいただいている支援物資は、県内の社会福祉法人・施設にて有効に活用させていただいております。

今後、県内各ライフラインの回復にともない、社会福祉法人・施設における必要な物資は水やインスタント食品といった緊急的な物資から、長期にわたって必要となる生活用品や消耗品(トイレtpーパー、せっけん、消毒剤など)へと変化することが予想されます。

変化する現地のニーズにともなって、支援に必要な情報を全国経営協から提供いたしますので、引き続きのご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 厚生労働省の対応状況

○ 熊本地震に伴う災害復旧作業を行う方々に対し、作業を安全に行うための防じんマスクなどを無償配布

- ・厚生労働省は、防じんマスクや切創防止手袋などの保安用品を製造する企業から公益社団法人日本保安用品協会を通じて無償提供の申し出を受けた、災害廃棄物(がれき)処理や災害復旧作業の災害防止に役立つ保安用品について、熊本労働局と大分労働局を通して、被災者、事業者、ボランティアの方々などに対して無償配布する。(4月25日以降、用品の配送状況などに応じて順次実施)

「厚生労働省報道発表資料」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000122396.html>

○被災地における熱中症予防

- ・被災地では、これから夏にかけて、気温が急上昇する中での家の片付け作業や、避難している車の中の気温の上昇等、特に熱中症に注意をする必要があると見込まれる。
- ・そのため、厚生労働省では、被災地における熱中症予防について、熊本県、大分県及び熊本市に対し、周知依頼の事務連絡を発出した。

「厚生労働省報道発表資料」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000122355.html>